

令和4年3月20日

令和4年度体操競技国体選手選考方法について

1. 令和4年度少年男子国体県予選会（5/5）への中学3年生参加基準について
 - ①令和3年度強化指定された中学3年生（3名）に出場権を与える。
 - ②上記3名を除く、令和3年度県ジュニア大会中学3年生だけの個人総合上位7名までの選手に出場権を与える。
尚、中学選手権大会と少年国体県予選会が連日（5/4・5）となりますので、参加申込をするか否かは選手に任せる。
2. 令和4年度国体選手選考方法について
 - ①少年（中学3年生～高校3年生）女子の個人総合得点について。
4日の中学生選手権大会に出場し、国体選手を希望する中学3年生の個人総合得点と5日の関東高校県予選会兼少年国体県予選会の2日間の個人総合得点を合わせて順位付けを行い、上位8名を候補選手として選考する。
 - ②国体選手選考基準（少年・成年）について
 - ア、NHK杯出場者（個人総合順位を優先）を優先（第1推薦）とする
 - イ、全日本個人総合選手権出場者（個人資格取得者）を優先（第2推薦）とする。
以上のア、イで選出された選手を国体正選手とする。
但し、最大4名までとする。上記「ア」と「イ」を合わせて5名以上になった場合には5番目以降の選手は国体県予選会に出場する事。
※全選手ともに国体県予選会への参加申込を絶対必要条件とする。
 - ウ、国体県予選会の個人総合1位～8位（8名）を国体候補選手とする。
※少年女子は上記①の順位。
 - エ、候補選手から以下の方法で正選手を決める。
 - i. 選考基準のア、イを満たす正選手数が4名の場合
国体県予選会上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。
 - ii. 選考基準のア、イを満たす正選手数が3名の場合
国体県予選会上位1名を正選手とする。
国体県予選会上位1名を除いた上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。
 - iii. 選考基準のア、イを満たす正選手数が2名の場合
国体県予選会上位2名を正選手とする。
国体県予選会上位2名を除いた上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。
 - オ、チーム貢献度による選考について
上記「エ、iii」までに選出された4選手と組み合わせたチーム得点（5選手のベスト4得点）が最も高くなる選手を選出する。
 - カ、チーム貢献度選出選手のタイブレークについて
 - ①チーム得点貢献種目の多い選手を上位とする。
 - ②貢献種目が同数の場合には、貢献した種目の得点に対してポイントを与える。
ポイントは
1位：4P、2位：3P、3位：2P、4位：1Pとする。
合計ポイントが高い選手を上位とする。
 - キ、上記でも決められない場合には強化部で検討し、常務理事会にて決定する。